

環境経営事業所訪問記

名瀬港運(株)



名瀬港の風景

<主な業務内容>

一般港湾運送事業・一般
自動車運送業・建設業
自動車整備業・旅行業

<EA21 登録日>

2009年7月



環境管理責任者の宮城専務取締役
(右から2人目)とスタッフの皆さん

今回訪問したのは、世界自然遺産登録を目指す奄美大島の奄美市にある[名瀬港運\(株\)](#)様です。

港湾運送業からスタートして、一般自動車運送業・建設業・自動車整備業・旅行業と幅広く事業を展開し、今年が創業60年になります。新しい環境技術に関心が高く、「省エネ・創エネ・蓄エネ」をキーワードに環境配慮設備の導入や活用に熱心です。

きっかけ

平成20年、奄美市より[世界自然遺産登録を目指す](#)にあたって、地域の各事業所に環境活動への取組みの呼びかけがあり、地域貢献にもなるエコアクション事業をスタートしました。

環境活動を継続することによって、事業活動による二酸化炭素排出量削減等多くの改善が進みました。また、環境改善の事例・環境情報・本社屋上に設置したソーラーでの発電量推移等を社内掲示板で周知することで、社員の環境意識を高めています。

環境改善のいろいろ

●電気：空調設備は、水冷空調から省エネ性能が高いカスタムエアコンに全て更新。本社屋上には11kWのソーラーを設置して、本社電気使用量の約半分をカバーしています。また、新規照明設備は、LED商品を積極的に採用しています。



本社屋上のソーラーパネル

●車両：電気自動車を4台保有し、車の充電には極力ソーラー発電を利用しています。

また、電気自動車の蓄電池を、夜間荷役作業でのLED照明電源や外部作業でのパソコン用電源にも活用しています。



建設用のバックホー・発電機・重機などを環境対応機種に買い替え、荷役作業用のフォークも電動タイプを購入し活用しています。

平成20年には、運送車両にデジタルタコグラフと、エコドライブ 充電スタンドをサポートする運行管理システム「[みまもりくん](#)」を導入。

また、営業車両9台にドライブレコーダーを装着し、安全運転と事故防止に努めています。

●自動車整備工場：低騒音のエアコンプレッサーや省エネ溶接機を導入。電気自動車の電源を活用できる電動工具を新規購入し、作業の能率もアップしています。

工場に設置した自動販売機の上部には、アルミ缶を断熱材として再利用しています。通学路に面しているため、動物のイラストを描いた資源回収投入口を設置し、子ども達がゴミ分別を楽しくしっかりできるよう工夫しています。



イラスト入り資源回収投入口

●旅行業：地域に環境活動や技術を感じられる企画を提供。

これからの方向・活動

有村忠洋代表取締役社長に、お話を伺いました。

“世界自然遺産登録を目指す地域の動きとリンクして、グローバルとローカルを視点に、環境と観光・交流に貢献していきたい。そのためには、さらにエコの先端技術と事業・ライフスタイルを磨きたい” とのことです。

そして、奄美を訪れる方々に、“気づきを与えられるような”エコ活動にしたいと、楽しそうにお話頂きました。

貴重なお時間に取材へのご協力いただき、本当にありがとうございました。